

令和5年度

# 寄宿舍 『キラリ&ホット』 通信

『友達と共に高め合い自立できる生徒』



2023.9.29 9月号 文責：寮務主任 揚張

前期も終わりとなり、後期が始まりました。この半年間、寄宿舍でのいろいろな活動を通して、舎生達は経験を重ね成長していています。

夏休みのアンケートへのご協力ありがとうございます。「舎の日課や行事は適切か」では、全員から【はい】の回答をいただきました。今後も子ども達の力となるように工夫していきます。他にも、家庭生活の中で食事の準備や片付け、自分の荷物整理などに取り組む姿が見られるといった回答があり、大変うれしくなりました。

## 《舎監日誌より》



夏レクに花火をしました。2学期初日という事もあり、皆も少しお疲れか…と思いましたが、美味しいご飯を食べて花火で遊ぶ姿は輝いていました。3年生の舎生達は、1年生の頃から花火を希望していたようで、花火を楽しみながら「あと半年か…」と寂しそうにつぶやく姿に、この2年半の充実が伺えました。あと半年、楽しい毎日を過ごしましょう！



食後に「キャンパス」の活動がありました。19時からというのに、「早くやりたい。」と我慢できない生徒が準備を始め、いつの間にかみんな夢中になっていました。早く終わった3年生は、後輩に「手伝うよ。」と声を掛けていました。この後輩への気遣いがバトンとなって代々受け継がれ、この寄宿舍の伝統になっていくんだなあと感じました。

入舎体験の生徒が来ました。女子一人となり、尚更の緊張があったと思いますが、かき氷を食べたり、カラオケを歌う先輩を見たりして過ごしていました。そんな中、先輩たちが意識的に近くに席を取ったり、先生と話している会話に乗ってきたりと、気を遣っている姿が見られました。「ようこそ寄宿舍へ。」の温かい気持ちが感じられました。



高等部の実習期間でもあり、男子4名でしたが、とても賑やかな時間でした。一転、8時からの学習時間になると、4人とも黙々と個々の学習に取り組む姿が見られました。メリハリのある舎での時間は、今後彼らの大きな経験になると思います。高3のRさんが、ポッチャで国体の静岡県代表に選ばれたので、皆で応援したいですね。

